

疫学（臨床）研究実施についてのお知らせ

大阪市立大学大学院医学研究科
脳血管内治療・頭蓋底外科病態学寄附講座

【研究課題名】

家族性アルツハイマー病に関する縦断的観察コホート研究（DIAN-J）

【研究期間】

平成 28 年 2 月 2 日 ～ 平成 32 年 3 月 31 日

【研究の意義・目的】

家族性アルツハイマー病の親を持つ子は、その遺伝子異常を引き継いでいるか否かによって、将来発症するかしないかということが出生時から決まっている。そしてアルツハイマー病の脳内変化は発症の 30 年ほど前から始まることが知られている。そのため発症前段階にある子の脳の画像や認知機能を調べれば病気の進行過程を観察することが可能となるのである。

【研究の方法】

家族性アルツハイマー病を発症して、すでに遺伝子異常が明らかな親を持つ未発症の子供を対象とした観察研究である。参加者には 2 年に 1 回受診してもらい、頭部 MRI、アミロイド PET、髄液穿刺、血液検査と共に、種々の神経心理検査を行い、その経過を追う研究である。30 名の参加を予定している。すでにワシントン大学で DIAN の研究名で行われている試験であるが、本研究はそのアメリカの研究に則って、日本において行うものである。

【研究組織】

研究代表者

大阪市立大学医学部

脳血管内治療・頭蓋底外科病態学寄附講座 特任教授 森啓

実施分担者 放射線診断学・IVR 学（認知症臨床研究センター） 特任教授 嶋田裕之

他に実施施設として、弘前大学、東京大学、新潟大学が参加する。

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者 森 啓

住所 〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町 1-5-7

電話 06-6646-3050

FAX

E-mail mori@med.osaka-cu.ac.jp